

(11) 沖縄



沖縄地域では、景気は持ち直している。

- ・ 観光は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回調査からの主要変更点

	前回(平成23年11月)	今回(平成24年2月)	
景況判断	持ち直しの動き	持ち直し	
観光	持ち直しの動き	持ち直し	
個人消費	おおむね横ばい	持ち直しの動き	
住宅建設	減少	増加	
雇用情勢	極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動き	

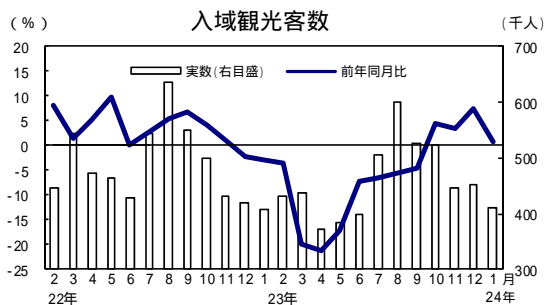
1. 観光及び企業動向

(1) 観光は持ち直している。

入域観光客数のうち、国内客については、11月は個人旅行や修学旅行による団体客の増加等により前年同月実績を上回った。12月はクリスマスの3連休の好調等により、前年同月実績を上回った。1月は円高による海外旅行の動きや九州新幹線の影響により、東京・関西方面からの観光客数が伸び悩み、小幅ながら前年同月実績を下回った。

外国客については、11~1月は外国航空会社の定期便の増便や新規就航など、提供座席数の増加や中華圏を中心とした沖縄への高い旅行需要により、前年を大幅に上回った。

主要ホテルの客室稼働率は、修学旅行による団体客の増加や、個人客需要の持ち直しから、那覇市内ホテル、リゾートホテルともに前年同期を上回っている。



入域観光客数等の動向

(単位:千人、%)

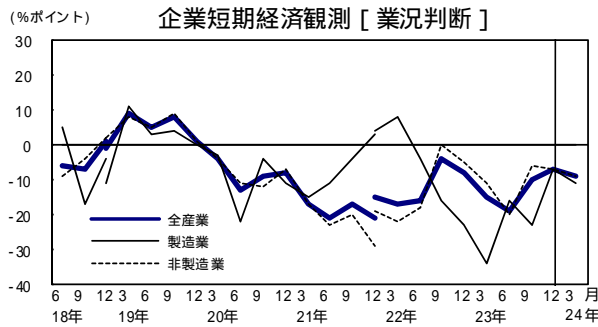
	23年4-6月	7-9月	10-12月	24年1月
入域観光客数	1,153	1,632	1,421	410
(前年比)	15.5	5.6	5.2	0.9
ホテル稼働率	55.0	77.9	65.8	-
(前年差)	10.6	3.0	4.2	-

(備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。

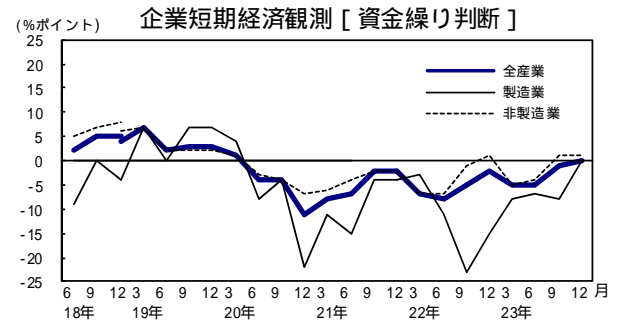
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」と「苦しい」が同数となっている。

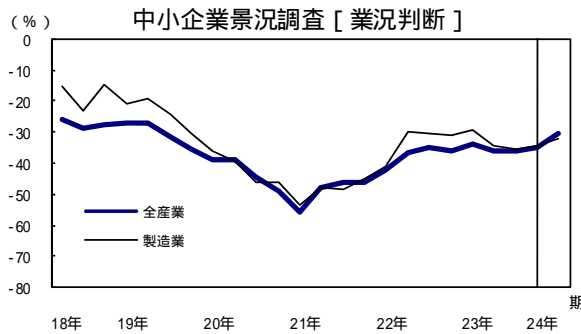
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。24年3月は予測。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。
九州(含む沖縄)地区のD I。

景気ウォッチャー調査(1月)[企業動向関連(現状)]

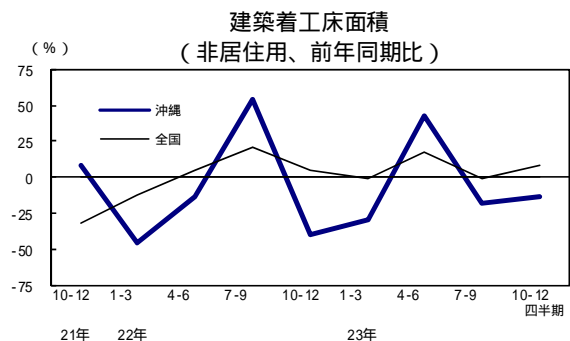
「外食関連や家具類については物量はほぼ変わらず、家電は減少傾向、建設関連は前年末より取扱件数が多い状態で推移している。スーパーマーケット及び総合スーパー関連の物量はほぼ横ばい、コンビニエンスストアは出店計画があるが需要に対して供給が過剰の状態と推測される。全体的に景気が良くなっているという感覚が無い(輸送業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 23年度の設備投資は前年度を大幅に下回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

	(前年度比、%)	
	22年度実績	23年度計画
全産業	16.7(1.5)	23.5(1.5)
製造業	38.7(29.5)	2.5(3.5)
非製造業	13.2(6.8)	25.8(1.2)

(備考) ()は前回(9月)調査比修正率。石油・電力を除く。



2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

百貨店販売額、スーパー売上高

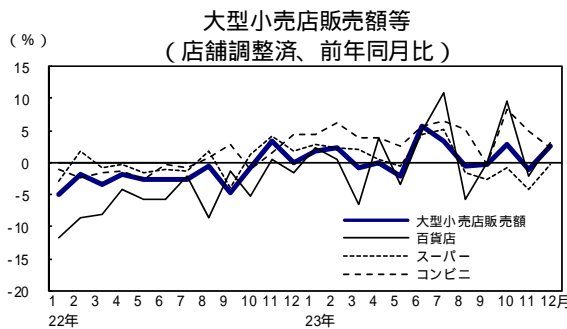
大型小売店販売額は、前年同期比で1.6%増、前期比で1.3%増となった。

百貨店は、10月は大型催事の開催時期変更の影響等により、前年を上回った。11月は平均気温が高く、冬物衣料品の動きが鈍かったこと等から、前年を下回った。12月は気温低下による冬物衣料品や食料品の好調等により、前年を上回った。

スーパーは、天候不順による衣料品の減少や、前年のエコポイント制度変更前の駆け込み需要の反動による家電の減少等により、前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(12月)[家計動向関連(現状)]

「前年に比べて、客室稼働率は上回っているものの、3か月前と比べて大きくは変わらない状況である(観光型ホテル)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	23年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
大型小売店(*1)	1.1	1.1	0.9	1.6
百貨店(*1)	1.2	1.8	2.0	3.2
スーパー(*1)	2.4	1.3	0.3	1.6
大型小売店(*2)	0.6	0.5	2.0	3.0
(季節調整値)(*3)	(0.6)	(1.1)	(1.8)	(1.3)
乗用車(*4)	24.7	33.4	19.8	19.9
(季節調整値)(*4)	(12.1)	(9.0)	(21.0)	(2.7)

(備考) 1. 大型小売店は経済産業省調べ(店舗調整済) 百貨店、スーパーは日本銀行那

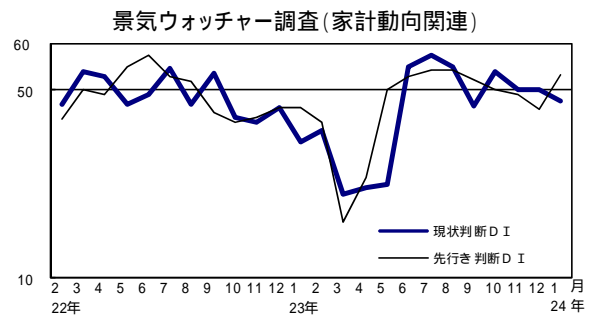
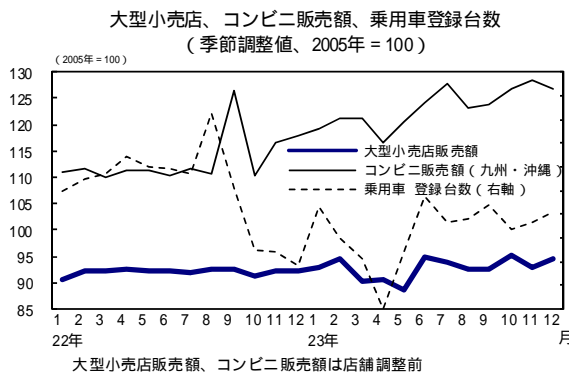
覇支店調べ(いずれも既存店) 前年同期比(%)

2. 店舗調整前、前年同期比(%)

3. 店舗調整前、前期比(%)

4. 乗用車は乗用車新規登録・届出台数

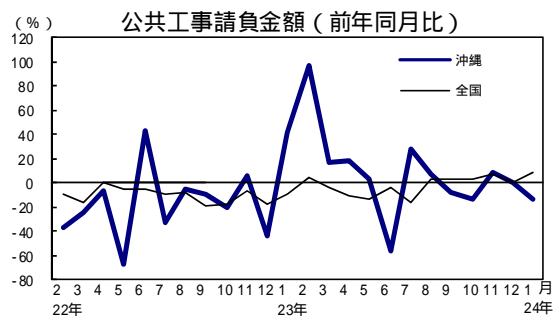
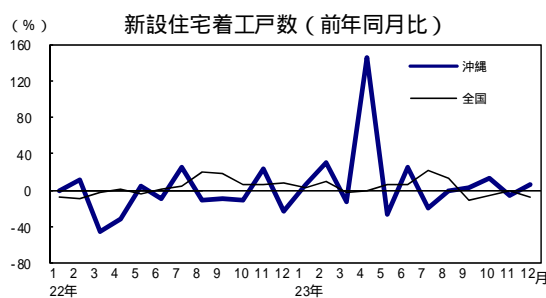
(上段: 前年同期比、下段: 前期比、%)



(2) 住宅建設は増加している。

分譲が前年を下回ったものの、貸家、持家が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は23年度累計で見ると前年度を下回っている。

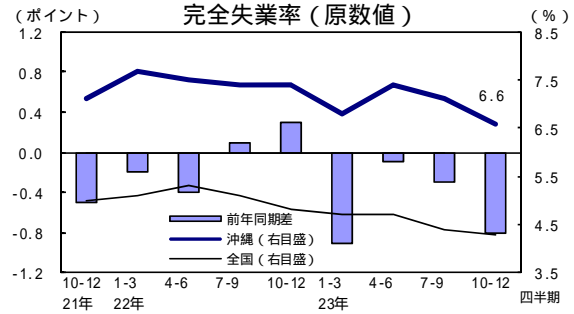
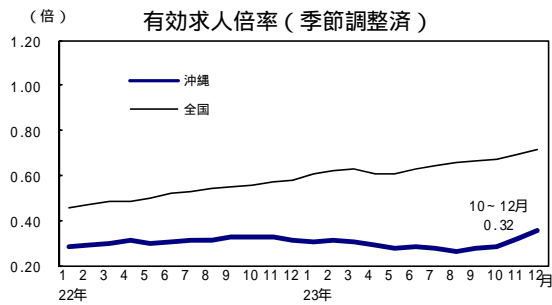


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 沖縄県の完全失業率は、沖縄県「労働力調査」より算出。

景気ウォッチャー調査 (12月)[雇用関連(現状)]

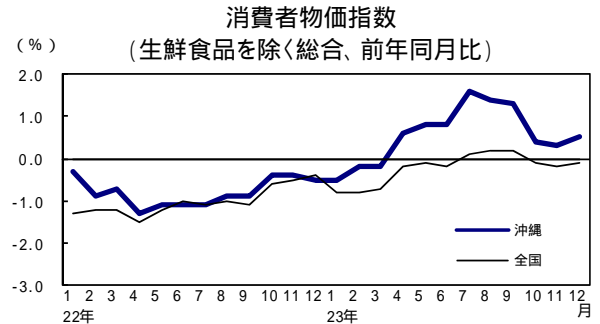
「年末、年始を迎えても、実質的な受注案件は通常月とそれ程変わらない(人材派遣会社)など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数は増加しているものの、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	23年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	24年1月
倒産件数	20	25	21	16	6
(前年比)	100.0	108.3	50.0	23.1	0.0
負債総額	21	31	104	19	5
(前年比)	2.5	138.2	83.3	6.0	50.2



景気ウォッチャー調査 (1月)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

・景気が悪いとまでは感じられないが、新年に入って天気の良い日が続いているので、人の動きも鈍いと感じる(衣料品専門店)。

<先行き>

・今年の3月は、例年行っている映画祭、音楽祭のイベントに加えて、人気歌手のライブが開催される予定である。その影響もあり、県外からのレンタカーの予約が若干増えつつある(その他のサービス[レンタカー])。

